

資源になる「紙類」とは？

区分	見分け方	利用方法
新聞	● 新聞紙 ● チラシ広告 ※新聞紙の中にチラシ広告が混じっていても構いません。	主に新聞紙やコピー用紙としてリサイクルされています。
雑誌	● 週刊誌 ● 漫画本 ● カタログ類 ※薄くても背の部分を綴じてあるものは雑誌となります。	主に雑誌や菓子箱としてリサイクルされています。
ダンボール	● ダンボール(断面が波形のもの) ※留め金、ガムテープはついていても構いません。	主にダンボールとしてリサイクルされています。
飲料用紙パック	● 牛乳の紙製容器 ● ジュースなどの紙製容器 ※内側がアルミコーティング(銀色)のものは雑紙です。	主にトイレットペーパーとしてリサイクルされています。
雑紙	● 上記4つ以外の紙全般 包装紙・紙袋・菓子等の箱・コピー用紙・ハガキ・封筒(窓フィルムははがす)・画用紙・ガムテープの芯・ラップの芯・内側が銀色の紙パック・シュレッダーした紙	主にダンボールとしてリサイクルされています。

※ガムテープ・梱包用ラップなどでまとめてはいけません。ビニールひもなどで十字にしばってください。

出し方

1 出す前に

- 新聞 新聞販売店から配られた紙袋に入れるか、ひもで十字にしばる
- 雑誌 同じ大きさのものをまとめてひもで十字にしばる
- ダンボール 箱になっているものは開いてひもで十字にしばる
- 飲料用紙パック きれいに洗って中をすすぎ、乾かし開いて、ひもで十字にしばる
プラスチックの注ぎ口は取り除いてください。
- 雑紙 紙袋に入れて、中身がでないように、ひもで十字にしばる
シュレッダーした紙は、中身の見える程度のレジ袋等に入れてください。

2 紙類収集日の朝6時から8時までに資源ごみステーションに出す

収集日が雨の場合は次回を待つか、中身の見える程度のレジ袋等に入れ、濡れないようにしてください。



資源ごみとして出せないもの

- 汚れているもの
- 臭いのついた紙箱
- 濡れているもの
- ティッシュ
- 写真
- 緩衝材
- 点字用紙
- プラスチックフィルムやクリップ付きのもの
- 米袋
- 圧着はがき(のりなどが付着したもの) など

このようなものは、**可燃ごみとして出してください。**